

平成 18 年 度 教 育 研 究 業 績 書

氏名 千田嘉博

最終学歴	1986年 奈良大学 文学部 文化財学科 卒業
取得学位	2000年 博士(文学)(大阪大学)
所属学会	考古学研究会(全国委員)、日本考古学協会、日本史研究会
現在の専門分野	歴史考古学
研究課題	考古学による中・近世社会の研究

【研究上の特記事項】

特定領域研究「中世考古学の総合的研究」の計画研究代表者として、中世の城・都市・建築・歴史地理に関する学融合研究を推進するとともに、モンゴルの遼代の城郭都市遺跡チントルゴイをモンゴルとロシアの科学アカデミーと合同調査した。この特定領域研究が年度末で廃止になるのにもとない、種目変更された特別推進研究の代表者に就任し、5年間の研究成果をとりまとめることとなった。また大学共同利用機関法人・人間文化研究機構の研究への参画、国際シンポでの報告など行った。

【教育上の特記事項】

教育効果をいっそう高めるため、博物館や遺跡などの現地指導を積極的に実施した。現地指導は、生駒市高山城跡、奈良市上狭川城跡、石のカラト古墳、佐紀古墳群、元興寺、奈良国立博物館、私のしごと館などで行った。

【社会的活動】

考古学研究会の全国委員として学会の運営に携わった。各地の自治体と協力して史跡の整備・活用を進めた。(宮崎市教育委員会佐土原城整備委員会、長崎県南島原市原城跡調査指導委員会副委員長、熊本県宇土市宇土城跡整備委員会、徳島県教育委員会城館調査指導委員、枚方市環境評価委員、愛知県名古屋城本丸御殿復元検討委員、石川県金沢城調査研究所専門委員、静岡県沼津市長浜城・興国寺城整備委員、青森県五所川原市十三湊遺跡調査指導委員)

【学内活動】(学内職歴を含む)

文学部教務委員、全学教務委員、学生指導委員、学生相談室員、学部等増設検討委員、教職員組合執行委員

著書、学術論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要
(著書) 『能登七尾城・加賀金沢城』	共編著	2006年6月	新人物往来社	181ページ
『文化遺産の世界 - 城郭と復元』	編著	2006年11月	国際航業	29ページ
(学術論文) 「中世城郭の技術」	単著	2006年5月	『中世の文化と場』シリーズ都市・建築・歴史、第4巻、東京大学出版会	pp.217 - 240

「奈良県高山城の構造」	単著	2006年	『文化財学報』第23・24集	pp.53 - 59
「モンゴルトーラ川流域の契丹城郭」	共著	2006年12月	『考古学研究』第53巻第3号、考古学研究会	pp.117 - 120
「道南十二館」	単著	2007年2月	『北東アジア交流史研究』、塙書房	pp.115 - 124
「末森城等城館群の特徴」	単著	2007年3月	『末森城等城館群』石川県宝達志水町	pp.81 - 85
(学会発表) 「日本の中世城郭」	単著	2006年7月	国際シンポジウム「東北アジアにおける遼・金・蒙元期の都市」中国・吉林大学	資料集pp.63-66
「中世城郭の占地と造営」	単著	2006年9月	奈良文化財研究所・埋蔵文化財専門研修	